MITSUBA

Guardog VISE GUARD with ALARM

grip & brake lock device for motorcycles

ガードッグ・バイスガード

品番：BS−002

取扱説明書

株式会社 ミツバサンコーワ

本社/〒175-0094　東京都板橋区成増3-3-4

営業所/札幌・東京・名古屋・大阪・福岡

http://www.mskw.co.jp/

技術的なお問い合わせ窓口

株式会社ミツバサンコーワ 技術サービス

〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原3546-1

☎ 0277-72-4588

N-002-016-A

このたびは、ミツバ「ガードッグ・バイスガード」をお買上げ頂きまして、ありがとうございます。
この取扱説明書は、商品の正しい使い方、使用上の注意について記載しております。
本書を最後まで必ずお読み頂き、商品を正しくお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用出来るように大切に保管してください。

1 注意事項

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警 告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

- 本品を装着したまま絶対に走行しないでください。装着したまま走行した場合、重大な事故の原因となります。
- 走行時、本品をハンドルやミラー等にぶらさげないでください。ハンドルをとられて転倒する恐れがあります。また、走行中に落下させると重大な事故の原因となります。確実に収納してから走行してください。
- 電池交換の際、交換した電池は幼児の手の届かないところにおいて早めに処分してください。万一飲み込んでしまった場合には、すぐに医師に相談してください。
- 本品の警報を耳のそばで作動させたり、長時間の試聴はしないでください。耳に障害を与える恐れがあります。

⚠ 注 意　取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

- 本品は車両のグリップとブレーキレバーをロックし、傾斜変化を感知し警報を発することで盗難やいたずら等を抑止するものであり、完全に防止するものではありません。本品を装着した車両が万一盗難やいたずら等の被害に遭われましても、本品の正常、異常にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本品をワイヤー式ブレーキ車には使用しないでください。ブレーキワイヤーが伸びる恐れがあります。
- 適合条件に適合する車両にお使いください。無理に装着しないでください。本品及び車両の故障の原因となります。
- 本品は、必ずトップカバーが上になるように装着してください。故障の原因となります。
- 本品の分解、改造は絶対におこなわないでください。また、本品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本品の不具合については、当社製造上の欠陥を除き責任を負いかねますので、取り扱いに十分ご注意ください。

適合条件

下記の条件に該当する車両にご使用頂けます。

①油圧式ブレーキの車両。

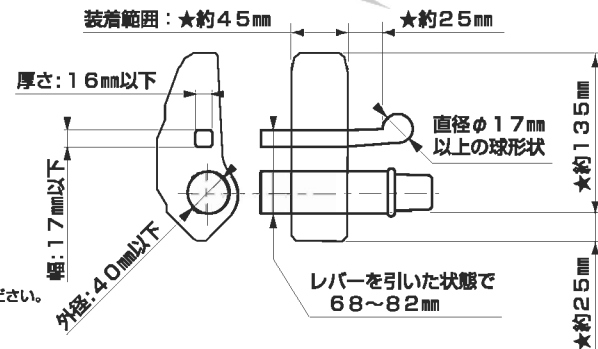
②ブレーキレバー端部が直径φ１７㎜以上の球形状の車両。

③右図の装着範囲内でレバーとグリップが以下の条件を満足する車両。

- レバーの形状がほぼストレートで、幅：１７㎜以下、厚さ：１６㎜以下であること。
- グリップの外径が４０㎜以下であること。
- レバーを引いた状態でグリップとの距離が６８～８２㎜であること。

④レバーとグリップ周辺に、右図の★印寸法のスペースが確保出来る車両。

※ハンドルを左右にロックするまで切った状態で確認してください。

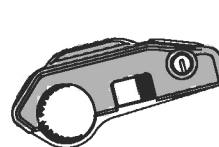
このスペースが確保出来ない場合、キーとレバー端部が干渉して開錠出来なくなる恐れがあります。

キーの紛失に備えて

キーは紛失した場合に備え、１つをスペアとして別に保管することをお奨めします。
また、ご使用頂く前に、キーに刻印された番号を必ず下の記入欄と保証書の記入欄に控えておいてください。

万一、キーを紛失されてしまった場合には、本品をお買い求め頂いた販売店様にて、刻印番号を添えてご注文ください。

⚠注意　刻印番号が不明な場合、スペアキーのご購入は出来ませんので、必ず控えておいてください。

キー刻印番号					

2 セット内容・主な仕様

バイスガード本体

キー（ディンプルキー）

※付属の電池はテスト用のため寿命が短い場合があります。

テスト用電池（CR2032）×２個

主な仕様	
本体重量	４００ｇ
動作温度範囲	−１０～５０℃（電池の性能・残量により変動します）
保存温度範囲	−３０～７０℃
定格電圧／使用電池	DC6V／CR2032×2個
警報音圧	１００dB
電池寿命（２０℃の場合）	１日８時間警戒（警報１回）：約６ヶ月 連続警戒（警報なし）：約４ヶ月

3 各部の名称